

2014/3/31

第5回 アジア理工系学生連携促進プログラム

“5th ASCENT” 活動報告書

文責：平本 嶺王

1. 概要

アジア各国の理工系学生を日本・東工大へ招聘し、各年のテーマに基づいて企業・大学機関への訪問や特別講義、ディスカッションなどを行う10日間の国際交流プログラムである。様々なアクティビティを通して、将来に続く国際的な学生ネットワークを構築することを目的としており、2009年度より毎年3月に開催されている。

2. 日程

2014/3/14(金)-23(日)

3. 参加者

SAGE より 9名

東工大より 5名(日本人学生 4名、留学生 1名)

海外大学より 14名

内訳:

タイ チュラロンコーン大学より 7名

インドネシア バンドン工科大学より 7名

インドネシア ガジャマダ大学より 1名

交流会のみの参加者 5名

内訳:

東工大 日本人参加者 2名

東工大 留学生参加者 1名

他大学 日本人参加者 2名

他大学 留学生参加者 0名

4. 当日の活動

日程	内容
3/14	海外学生入国日、歓迎パーティ
3/15	開会式、事前学習発表会、文化交流会
3/16	基調講演、ケーススタディ、ディスカッション
3/17	企業見学(国立環境総合技術研究所、土木研究所)
3/18	企業見学(芝浦水再生センター、鉄道技術研究所)
3/19	特別講義、ミニプレゼンテーション、研究室見学
3/20	研究室見学、ディスカッション
3/21	最終報告会、交流会
3/22	観光、フェアウェルパーティ
3/23	海外学生出国日

5. 感想

今回の 5thASCENT では、これまで史上最多の計 19 名の動員、ガ ज्याマダ大学への進出、Skype を通じた面接選考、ケーススタディの導入など、前回以前にはなかった新たな企画を試み、実行した。これらにより、ASCENT の規模や活動範囲の拡大化、より SAGE の意向に沿った参加者スクリーニング、プログラム自体の質の向上を実現することができた。事実、プログラム後に行ったアンケートによると、満足度が 100% だったり、SAGE の活動に加わりたいという声に参加者の約 8 割だったり、ほとんどの参加者が今回のプログラムに参加してよかったと思っているようだ。

しかし、参加者からの ASCENT に対する意見の欄では、なかなか手厳しく主催側では気づけなかった指摘がいくつもあり、また、10 日間朝から晩までスケジュールを詰め込んでしまった点はよくなかったようで、数人が軽度の体調不良を訴える場面も見られた。加えて、時間が足りないという意見も多かったので、体力と時間の按配を調整する必要がありそうだと感じた。

なにより、SAGE や参加者間の強い学生間ネットワークが構築され、各国に帰った後もコンタクトを取り続けられていることは、このプログラムの目的の達成を意味しており、ASCENT は重大な失敗に見舞われることもなく、成功をおさめたと言って良いだろう。もちろん、発見した課題については、6thASCENT に向けて改善策を練り、より充実したプログラムの確立を目指していく。

6. 活動風景



写真1：土木研究所見学の様子



写真2：ディスカッションの様子



写真3：最終日の集合写真